



140周年記念会館 エリプス



# 農工通信

*The Graduates' Association of  
Tokyo University of Agriculture and Technology*

NO. 85

2013.9

東京農工大学同窓会  
<http://www.tuat-dousoukai.org/>

目次

■ 会長就任の挨拶 .....	1
■ 会長退任の挨拶 .....	2
■ 理事長の挨拶 .....	3
■ 同窓会第50回理事会・通常総会 .....	4
■ 同窓会役員等体制・支部長及び連絡員表 .....	8
■ 叙勲受章にあたり 鈴木 正敏 .....	9
■ 退職にあたり .....	10
亀山 純生、高橋 幸資、田谷 一善、 豊田 隆、矢ヶ崎一三、小宮三四郎、 堤 正臣、寺田 松昭	
■ 平成24年度同窓会学生援助事業報告 .....	12
■ 平成24年度卒業生・修了生 .....	13
■ 部会・支部・クラス会だより .....	20
■ 掲示板 .....	30
■ 事務局だより .....	33
■ 広告 .....	34
■ 編集後記	

表紙イラストレーション <佐藤 勝昭 東京農工大学名誉教授>



## ■ 会長就任の挨拶 ■

新同窓会長 草野 洋一（養蚕S47）



5月25日の第50回総会において、同窓会長に選任されました。前任の藤森会長は、リーマンショック以降、特に3.11の東日本大震災という予期せぬ災難に遭遇し、我が国経済が厳しい状況が続いている中での寄附金集めという、誠に厳しい仕事をやり遂げ、東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年合同記念事業を成功に導かれました。小金井キャンパスにおける「東京農工大学140周年記念会館」（建物の形が繭を想定した楕円形になっていますが、小金井キャンパスの前身は、今の北区西ヶ原から移転してきた東京高等蚕糸学校ですので、ぴったりのイメージです。3階には、77㎡のOBルームがあります。）の建設や、府中キャンパスの大学50周年記念ホールの増築、更には同窓会創立50周年記念式典の開催、同窓会50年史の刊行等の面倒な事業をことごとく仕上げてしまいました。ご苦労が多い時期に会長をされ、大変であったことは容易に想像がつかます。深く敬意を表する次第です。

このような立派な業績を残された会長の後任でありますし、さらにその前の畑中会長、西尾会長と、同様に同窓会事業の歴史に残る大仕事をされた歴代の会長を思い浮かべますと、はなはだ荷が重く感じているのが現在の正直な気持ちではありますが、同窓会員の皆様にご協力いただき、がんばって責任を果たしていきたいと思えます。具体的な課題としては、

- ①会員から希望の多い同窓会名簿の再発行の検討（会員毎に当該会員が了承した情報だけを掲載する等、個人情報と名簿に関する昨今の社会情勢の変化を踏まえ、新しい表記様式とすることがありそうです。）
  - ②昨年の会則改正で可能になった、「活動内容の類似した会員集団」又は「同好の会員集団」からなる集団部会設置の促進等を通じた同窓会活動の活発化
  - ③海外の同窓会支部の設置とその活動支援等を通じた組織化
  - ④将来の正会員である在学生（準会員）に同窓会活動を印象付ける活動の一環として、例えば、学生援助事業の拡充及び、一般財団法人東京農工大学教育研究振興財団を通じた研究支援の強化、特に近年増加している博士課程在学生の海外留学への支援等
  - ⑤恐らく蚕糸絹分野では世界一であろう東京農工大学科学博物館への支援（関係情報や資料等の収集・整理・提供システムの強化、明治神宮が昭憲皇太后逝去100年祭行事の一環として検討している、蚕の飼育、生糸の繰糸等への協力依頼、関係資料の貸与等への取組）等が考えられます。常務理事会や事務局の方々とよく相談して、実現可能なものから取り組んでいきたいと考えています。
- 同窓会員の皆様方のご協力を重ねてお願いしまして、就任のご挨拶と致します。

## ■ 会長退任の挨拶 ■

前同窓会長 藤森 明彦 (工化S42)



平成21年5月、畑中孝晴会長からバトンを渡され、同窓会会長に就任いたしました。

畑中前会長から、まずは同窓会50周年記念事業をきちんとやりなさいと申し渡されておりましたが、前年の秋に始まったリーマンショックの真っ最中でもあり、寄附金集めは当初の目標を大幅に下回り、事業の遂行も危ぶまれるような状況にありました。

それに加えて終盤に差し掛かった平成23年3月には東日本大震災という未曾有の大惨事が我が国を襲い、寄附金集めはさておいて救援金集めに奔走するような状態でありました。

このような中で同窓会創立50周年を無事迎えることができたのは、多くの同窓会会員の方々のご理解のもと、当時の同窓会理事長を務められた亀山先生、高橋先生はじめ常務理事会の諸先生方、事務局の皆さん方の献身的な働きと、

大学側の大変なご理解とご協力があったからこそ思っております。

このように多くの困難にも拘わらず同窓会創立50周年を無事終えることができましたが、次の50年に向かって、より魅力的な同窓会のあり方を模索するという事に関しては、必ずしも十分な進捗は得られず、多くをやり残してしまったという思いでいっぱいです。このことは草野洋一新会長に引き継いでいただけたらと願うところであります。

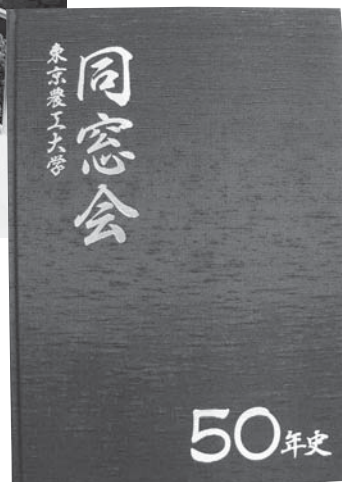
来年(平成26年)には大学の創基140周年を迎えます。これからも東京農工大学並びに同窓会が益々発展され、また多くの同窓の方々の一層のご活躍を心より願っております。



140周年記念会館「エリプス」



50周年記念ホール



同窓会50年史

## ■ 理事長の挨拶 ■

理事長 渡邊 敏行 (材料S61)



同窓生の皆様にはお元気でご活躍のことと存じ上げます。

昨年の同窓会総会で藤森会長より平成24～25年度の理事長指名を受け、はや1年が経過しました。

会員に開かれた同窓会を目指し、昨年度より同窓会の活動、会則の見直し等を行ってまいりました。従来の活動と比べて、どのような点が変更されたのか、現状と課題について報告させていただきます。

### ①同窓会ホームページのリニューアル

昨年度より同窓会のホームページをリニューアル致しました。コンテンツ管理システムを導入したことによって、ホームページ中のトピックスや部会・支部便り、クラス会便り等を事務局で更新できるようになりました。また、会員情報(住所変更)更新の申込みがホームページからできるようになりました。

ホームページ内にギャラリーを設けました。現在6名の方の作品を展示してあります。農工通信の表紙にも利用させていただいております。

会員交流広場にFacebookページを設けました。しかしながら現在までの所、20部会中の5部会、48支部中の19支部しかFacebookページが開設されていません。また、残念ながら、Facebookページが開設されている部会、支部でも「いいね」をクリックしている人の数は最も多い部会で35名、概ね10人以下でしかありません。「いいね」の数を各部会、支部で、少なくとも会員数の3割以上にする必要があります。実際にFacebookへの参加登録の仕方、Facebookページの運用の仕方を会員の皆様に案内する必要があると思

います。「いいね」をクリックしてくれる会員が増えれば、バーチャルな同窓会を常時開催できるようになります。

### ②従来あった部会、支部の他に「活動内容の類似した集団部会」の設置が可能となりました。

正会員が20名以上集まれば、その活動に対して同窓会が2万円/年の支援を行うものです。これも残念ながら申請は1集団部会しかございません。クラスやサークルなどを母体とした申請も考えていただけたら幸いです。

### ③農工通信の年2回発行

従来の農工通信に加えて、同窓生が編集委員として寄稿原稿を集めた後期号を発行(1月)することになりました。今年度は、昨年度を大幅に上回る寄稿をいただきました。厚く御礼申し上げます。

### ④同窓会総会への一般会員の参加が可能となるための会則改正を行いました。

同窓会総会への参加は役員、代議員、支部長に限られておりましたが、総会構成員として60名までではありますが、一般会員も総会に参加できるようになりました。農工通信、ホームページでアナウンスしておりましたが、今年度の一般会員の参加者はゼロ名でありました。総会にあわせてクラス会などを開催される場合は、総会にも参加してくださいませよう、お願い申し上げます。

会員の皆様に身近な同窓会となりますよう、草野新会長のご指導のもと、常務理事および事務局職員と共に努力する所存です。同窓会の発展のためにも今後とも会員の皆様のご支援と、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

# 同窓会第50回理事会・通常総会

■日時：平成25年5月25日（土）13：30～14：30 ■場所：府中キャンパス農学部講堂 ■出席者：197名（内委任状67名）



第50回理事会・通常総会は、5月25日（土）、母校府中キャンパス農学部講堂で開催された。通常総会に先だって理事会が開催され、渡邊理事長を議長に選出した。議長から、平成25・26年度会長・副会長の推挙、平成25年度特別会員の推薦、通常総会の議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催に当たって、鈴木副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。藤森会長から（全国から多数の参加のお礼、学長・副学長等の参加のお礼、有意な討論のお願い等）の挨拶があった。続いて松永学長をはじめ、来賓（國見副学長、堤副学長、荻原農学研究院長、船田連合農学研究科長、畑中名誉会長、梶井名誉顧問）の紹介があった後、松永学長から、同窓会からの支援に対する謝意があり、続いて大学の現状（府中・小金井両キャンパスの建物整備、テニヤトラック、保育園開設、リーディング大学院等）の紹介があった。引き続き、鈴木副理事長から、通常総会の議長については、会則第35条に基づき藤森会長が務める旨の説明があった後、会則第37条第2項により藤森会長、深水監事、竹内監事が議事録署名人となり議事に入った。

## 議事

### 1. 平成24年度監査報告及び事業報告並びに収支決算報告

竹内監事より決算報告書・帳簿・伝票等の精査をした結果、何れも適正に処理されており、事業・業務執行状況も適正であること、また、個人情報に関する取扱いも適正に行われている旨の報告があった。続いて、滝山総務部長より事業報告【別記1】、多羅尾経理部長より収支決算報告【別記2】があった。何れの報告も承認された。

### 2. 同窓会会則の一部改正

渡邊理事長より、会則の一部改正【別記3】について提案がなされ、審議の結果、承認された。

### 3. 平成25年度事業計画及び収支予算

滝山総務部長より、事業計画【別記4】、多羅尾経理部長より収支予算【別記5】の提案説明があり、審議の結果、承認された。

### 4. 平成25・26年度の会長・副会長の選任

渡邊理事長より、会長・副会長の選任【別記6】について提案がなされ、審議の結果、承認された。

### 5. 平成25年度特別会員の推薦報告

渡邊理事長より、理事会で推薦、承認された特別会員20名の報告があった。

### 6. 農工大支援ネットワーク集団部会設置報告

渡邊理事長より、常務理事会で設置が承認された農工大支援ネットワーク

集団部会の報告があった。

### 7. その他

- 1) 新旧会長の新任（草野洋一氏）・退任（藤森明彦氏）の挨拶があった。
- 2) 新旧事務局長の新任（池谷紀夫氏）・退任（山田昭一氏）の挨拶があった。

通常総会終了後、増築された50周年記念ホールにおいて懇親会（約130名参加）が開催された。

## 【別記1】

### 平成24年度事業報告

#### 1. 第49回理事会・通常総会の開催

平成24年5月26日（土）小金井キャンパスにて第49回理事会・通常総会を開催した。議事内容は、1) 平成23年度事業報告（案）、2) 平成23年度収支決算報告（案）、3) 平成23年度監査報告、4) 東日本大震災に伴う同窓生に対する救援募金活動、5) 同窓会創立50周年記念事業、6) 同窓会50年史発行、7) 同窓会会則の改正（案）、8) 平成24年度事業計画（案）、9) 平成24年度収支予算（案）、10) 平成24・25年度理事・代議員の選任（案）、11) 平成24・25年度理事長・副理事長・常務理事の指名（案）、12) 平成24・25年度監事の選出（案）、13) 顧問の推挙（案）、14) 特別会員の推薦報告、15) 農工通信年2回発行、16) その他が諮られ、承認された。

#### 2. 同窓会創立50周年記念式典・記念の会の開催

平成24年5月26日（土）小金井キャンパスにて第49回理事会・通常総会終了後、同窓会創立50周年記念事業式典・記念の会を開催した。

#### 3. 平成24年度副会長懇談会の開催

平成24年11月10日（土）、府中キャンパスにて平成24年度副会長懇談会を開催した。

懇談内容は、平成25～26年度会長・副会長推薦依頼及び集団部会の設置、正会員の総会構成員の登録、外を行った。

#### 4. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の発行を年2回行うとともに「活動内容の類似した集団部会」の設置申請公告及び「正会員の第50回通常総会構成員」の登録募集公告を行った。また、常務理事の部会・支部への派遣も引き続き行った。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努めた。更に歳出削減に努めるとともに、新財務システムの運用を実施した。

#### 5. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

平成22年度から検討を重ねてきた同窓会の改革について、1) 同窓会会則の改正、2) 財務システムの改正、3) 農工通信の年2回発行については、第49回理事会・通常総会に上程し承認を得て実施した。また、4) その他の課題については、実施に向けて更に検討を重ねる。

#### 6. ホームページのリニューアル

平成24年6月に「会員交流広場」の開設等を盛り込んだホームページのリニューアルを行った。

#### 7. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット（新入生・ベアレンツデーにて配布）及びホームページのリニューアルによりPR活動に努めた。

#### 8. 会員の動静整理の継続実施

農工通信が返送された会員について追跡の動静調査を行った。

#### 9. 本学への学生進路・就職システム構築に対する協力

準会員（学生）が、就職活動等でOB・OG訪問をするにあたり、情報提供に



ついで、従来は本会のみでの対応であったが、両キャンパスの学生支援室の窓口で対応できるよう移行した。なお、大学と相互でOB・OG情報を共有し就職支援の充実を図った。

10. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行った。

11. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会発表・コンテスト・コンク

ル等発表・入賞祝い・優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに、卒業・修了証書カバーの贈呈を継続して行った。

12. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

[別記2]

平成24年度収支決算報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：円）

No	区分	細分	項目	(A) 平成24年度 予算額	(B) 平成24年度 決算額	(A) - (B) 増減	備考		
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金 6）	300,000,000	300,000,000	0			
2			余剰金からの繰入れ（30% 超える分）	0	0	0			
3			収入合計（1+2）	300,000,000	300,000,000	0			
4		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0			
5			支出合計（4）	0	0	0			
6				基本財産残高（3-5）→次年度繰越金	300,000,000	300,000,000	0		
7	運用財産	収入	前年度繰越金（43）	13,260,618	13,260,618	0			
8			入会金	4,212,000	4,850,000	-638,000	5,000円×970名=4,850,000円		
9			年会費	1,138,000	1,531,500	-393,500	1,500円×1,021名=1,531,500円		
10			終身会費	1,593,000	3,115,000	-1,522,000	30,000円×103名=3,090,000円 分納者1名=15,000円、 留学生1名=10,000円		
11			賛助会費	24,417,000	28,580,000	-4,163,000	30,000円×950名=28,500,000円 留学生10,000円×8名=80,000円		
12			利息	2,000,000	1,905,111	94,889	国債1,824,465円、預金80,646円		
13			寄附金	0	317,500	-317,500	一般寄附13名		
14			雑収入	340,000	631,309	-291,309	広告料11社420,000円、 活動費返金40,000円、 国債購入剰余金171,309円		
15					収入合計（7～14の計）	46,960,618	54,191,038	-7,230,420	
16			支出	動静調査等管理費	1,300,000	1,268,257	31,743		
17				会報発行費	9,000,000	8,942,565	57,435	年度2回発行	
18				HP管理作成費	2,240,000	1,615,630	624,370	新規・更新の掲載量の減	
19				部会・支部活動費	4,500,000	4,336,900	163,100	6部会、3支部が未申請	
20				母校援助費	4,500,000	4,580,000	-80,000	学会発表の申請件数の増加	
21		新入正会員歓迎費		900,000	717,525	182,475	安価契約		
22		分収林管理費		50,000	30,740	19,260	境界管理アルバイト料（交通費含）		
23		資料整備費		680,000	330,907	349,093	安価契約		
24					事業費計（16～23の計）	23,170,000	21,822,524	1,347,476	
25		総会会議費		2,200,000	2,103,915	96,085			
26		副会長懇談会費		70,000	71,563	-1,563			
27		常務理事会議費		140,000	102,000	38,000			
28					会議費計（25～27の計）	2,410,000	2,277,478	132,522	
29		人件費		4,900,000	4,357,139	542,861	節約		
30		備品費		200,000	0	200,000			
31		消耗品費		910,000	821,828	88,172	節約		
32		通信費		950,000	752,669	197,331	振込手数料・後納郵便料の減		
33		旅費		1,500,000	1,830,120	-330,120	派遣人数の増及び遠隔地派遣の増		
34		事務用品印刷費		60,000	14,805	45,195			
35		慶弔費		150,000	27,160	122,840	レタックス料等の減		
36		光熱水費		120,000	111,304	8,696			
37		その他雑費		400,000	261,617	138,383	節約		
38					事務費計（29～37の計）	9,190,000	8,176,642	1,013,358	
39		50周年記念事業費	7,615,458	995,753	6,619,705	記念会料理代、外			
40		職員厚生費	1,444,773	162,656	1,282,117	人間ドック補助（2名分） 退職金（1名分）			
41		予備費	3,130,387	100,000	3,030,387	農工通信編集委員の謝金（2名分）			
42				支出合計（24+28+38+39+40+41）	46,960,618	33,535,053	13,425,565		
43				運用財産残高（15-42）→次年度繰越金	0	20,655,985	-20,655,985		
44		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金（54）	55,000,000	55,000,000	0		
45				余剰金からの繰入れ（30%を越える分）	0	0	0		
46				収入合計（44+45）	55,000,000	55,000,000	0		
47			支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0		
48				周年記念事業支出	0	0	0		
49				学生援助事業支出	0	0	0		
50	被災会員支援事業支出			0	50,590	-50,590	原発被災者見舞金（1名分）		
51	図書・名簿等刊行事業支出			0	0	0			
52	その他本財産に適合する事業支出			0	0	0			
53	支出合計（47～52の計）			0	50,590	-50,590			
54				特定目的事業財産残高（46-53） →次年度繰越金	55,000,000	54,949,410	50,590		
55			月及び期末合計（6+43+54）	355,000,000	375,605,395	-20,605,395			
56	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0			
57			月及び期末総合計（55+56）	387,877,400	408,482,795	-20,605,395			

[別記3]

東京農工大学同窓会会則の一部改正

改正前	改正後	改正理由
(入会金及び会費) 第8条 正会員、準会員及び賛助会員は、別表1に示す入会金及び会費を納入しなければならない。	(入会金及び会費) 第8条 正会員及び準会員並びに賛助会員は、別表に示す入会金及び会費を納入しなければならない。	別表1を別表にするとともに、字句の整理をした。
(会則の変更) 第49条 本会会則の変更は、総会出席者の3分の2以上の承認がなければならない。 可否同数のときは議長の採決による。	(会則の変更) 第49条 本会会則の変更は、総会出席者の3分の2以上の承認がなければならない。	文章表現が理論的に成り立たないため「可否同数のときは議長の採決による。」を削除

附 則

この一部改正は、平成25年5月25日より施行する。

[別記4]

平成25年度事業計画

1. 第50回理事会・通常総会の開催

平成25年5月25日(土)府中キャンパスにて第50回理事会・通常総会を開催する。議事内容は、1)平成24年度監査報告、2)平成24年度事業報告(案)、3)平成24年度収支決算報告(案)、4)同窓会会則の一部改正(案)、5)平成25年度事業計画(案)、6)平成25年度収支予算(案)、7)平成25～26年度会長・副会長の選任(案)、8)特別会員の推薦報告、9)農工大支援ネットワーク集団部会設置報告、10)その他 新旧会長の退任・新任の挨拶、新旧事務局長の退任・新任の挨拶を予定する。

2. 集団部会の設置

「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動費等に関する規程第2条第2項」に基づく集団部会の設置の増加について更に努める。

3. 同窓会正会員の総会構成員登録

「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第3条」に基づく総会構成員の登録の増加について更に努める。

4. 平成25年度副会長懇談会の開催

平成25年11月9日(土)、府中キャンパスにて平成25年度副会長懇談会の開催を予定する

5. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行の内容を更に充実させるとともに、集団部会の設置増及び正会員の総会構成員登録増に努める。また、常務理事の部会・支部への派遣も引き続き行う。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持

に努める。更に歳出削減に努めるとともに、会計ソフトの導入を予定する。

6. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

平成22年度から検討を重ねてきた同窓会の改革について、積残しとなっている分収林の課題、海外支部設置等について更に検討を重ねる。

7. ホームページの充実

平成24年度に開設した「会員交流広場」・「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねる。

8. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット及びホームページによるPR活動に努める。

9. 会員の動静整理の継続実施

農工通信が返送された会員について追跡の動静調査を行う。

10. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行う。

11. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会発表・コンテスト・コンクール等発表・入賞祝い・優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに、卒業・修了証書カバーの贈呈を継続して行う。

12. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表す。

13. 本学とのOB・OG情報の共有

本学と本同窓会と相互でOB・OG情報を共有し就職支援等の充実を図る。

[別記5]

平成25年度収支予算

(単位：円)

No	区分	細分	項目	(A) 平成25年度 予算額	(B) 平成24年度 予算額	(A) - (B) 増減	備 考
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金 6)	300,000,000	300,000,000	0	
2			余剰金からの繰入れ(30%超える分)	0	0	0	
3		収入合計(1+2)	300,000,000	300,000,000	0		
4		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0	
5			支出合計(4)	0	0	0	
6				基本財産残高(3-5)→次年度繰越金	300,000,000	300,000,000	0
7	運用財産	収入	前年度繰越金(43)	16,257,311	13,260,618	2,996,693	余剰金：20,655,985円 当期収入金(30%)：54,191,038円×0.3=16,257,311円 特定目的繰入金：20,655,985円-16,257,311円=4,398,674円 25年度への繰越金：20,655,985円-4,398,674円=16,257,311円 過去3年間の収入実績の平均相当額を計上
8			入会金	4,800,000	4,212,000	588,000	
9			年会費	1,300,000	1,138,000	162,000	〃
10			終身会費	2,100,000	1,593,000	507,000	〃
11			賛助会費	28,200,000	24,417,000	3,783,000	〃
12			利息	2,000,000	2,000,000	0	〃
13			寄附金	0	0	0	〃
14			雑収入	360,000	340,000	20,000	見込みの出来る広告料の過去3年間の収入実績の平均相当額を計上
15			収入合計(7~14の計)	55,017,311	46,960,618	8,056,693	



No.	区分	細分	項目	(A) 平成25年度 予算額	(B) 平成24年度 予算額	(A) - (B) 増減	備考		
16	運用財産	支出	動静調査等管理費	1,300,000	1,300,000	0			
17			会報発行費	9,700,000	9,000,000	700,000	編集委員謝金(40万円) + 寄稿(30万円)の増		
18			HP管理作成費	500,000	2,240,000	-1,740,000	リニューアルによる基本料金(124万円)の減少		
19			部会・支部活動費	4,500,000	4,500,000	0			
20			母校援助費	4,600,000	4,500,000	100,000	前年度の支出実績相当額を計上		
21			新入正会員歓迎費	900,000	900,000	0			
22			分収林管理費	100,000	50,000	50,000	老朽化に伴う看板の建替		
23			資料整備費	300,000	680,000	-380,000	記念事業・会則等の印刷物の減少		
24			事業費計(16~23の計)	21,900,000	23,170,000	-1,270,000			
25			総会会議費	2,700,000	2,200,000	500,000	前年度の懇親会費は50周年記念事業費から支出		
26			副会長懇談会費	80,000	70,000	10,000	前年度の支出実績相当額を計上		
27			常務理事会費	140,000	140,000	0			
28			会議費計(25~27の計)	2,920,000	2,410,000	510,000			
29			人件費	5,000,000	4,900,000	100,000	人件費(472万円) + 事務局長引継経費(28万円)		
30			備品費	500,000	200,000	300,000	データベース用コンピュータ購入(30万円)の増		
31			消耗品費	1,270,000	910,000	360,000	会計ソフト導入		
32			通信費	950,000	950,000	0			
33			旅費	1,900,000	1,500,000	400,000	前年度の支出実績相当額を計上		
34			事務用品印刷費	60,000	60,000	0			
35			慶弔費	150,000	150,000	0			
36			光熱水費	120,000	120,000	0			
37			その他雑費	300,000	400,000	-100,000			
38			事務費計(29~37の計)	10,250,000	9,190,000	1,060,000			
39			50周年記念事業費	0	7,615,458	-7,615,458	50周年記念事業終了の為		
40			職員厚生費	1,864,773	1,444,773	420,000	通常積立(30万円), 人間ドック補助金(12万円)		
41			予備費	18,082,538	3,130,387	14,952,151			
42			支出合計(24+28+38+39+40+41)	55,017,311	46,960,618	8,056,693			
43			運用財産残高(15-42) → 次年度繰越金	0	0	0			
44			特定目的事業財産	収入	前年度繰越金(54)	54,949,410	55,000,000	-50,590	
45					余剰金からの繰入(30%を超える分)	4,398,674	0	4,398,674	
46					収入合計(44+45)	59,348,084	55,000,000	4,348,084	
47				支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0	
48					周年記念事業支出	0	0	0	
49					学生援助事業支出	0	0	0	
50					被災会員支援事業支出	0	0	0	
51					図書・名簿等刊行事業支出	0	0	0	
52					その他本財産に適合する事業支出	0	0	0	
53				支出合計(47~52の計)	0	0	0		
54			特定目的事業財産残高(46-53) → 次年度繰越金	59,348,084	55,000,000	4,348,084			
55				月及び期末合計(6+43+54)	359,348,084	355,000,000	4,348,084		
56			特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	
57					月及び期末総合計(55+56)	392,225,484	387,877,400	4,348,084	

[別記6]

平成25~26年度 会長・副会長

役職名	氏名	学科卒年	推薦母体
会長	草野 洋一	養蚕S47	常務理事会
副会長	板橋 久雄	農 S39	農学・生物生産学部会
〃	安藤 俊幸	蚕糸S49	蚕糸生物学部会
〃	佐藤 令一	植防S54	植防・応用生物学部会
〃	蓮見 恵司	農化院S57	農芸化学・応用生命化学部会
〃	福田 清春	林産S44	林産・生物資源工学部会
〃	楊 宗興	環保S54	環境科学部会
〃	本山 芳裕	林 S48	林学部会
〃	加藤 誠	農工S44	生産環境工学部会
〃	本間 秀和	地生H12	地域生態システム学部会
〃	田谷 一善	獣医S46	獣医学部会

役職名	氏名	学科卒年	推薦母体
副会長	羽田 有輝	製糸S43	製糸・高分子・生命工学部会
〃	千田 武	織高S46	繊維・有機材料部会
〃	木村 雅俊	化工S48	化学工学部会
〃	遠藤 幸一	工化S46	応用分子化学部会
〃	澤田 孚夫	機械S40	機械システム工学部会
〃	宇野 亨	電気S55	電気電子工学部会
〃	安田 義道	応物S47	応用物理学部会
〃	近藤 聡	情マH18	情報工学部会
〃	加藤 美治	MOT H21	M O T 部会
〃	齋藤 隆	生院H11	B A S E 部会

# 同窓会役員等体制・支部長 及び 連絡員表

## 同窓会役員等体制

### 会 長 (平成25・26年度)

草野 洋一 (養蚕S47)

### 副 会 長 (平成25・26年度)

板橋 久雄 (農 S39)	安藤 俊幸 (養蚕 S49)	佐藤 令一 (植防 S54)	蓮見 恵司 (農化院 S57)
福田 清春 (林産 S44)	楊 宗興 (環保 S54)	本山 芳裕 (林 S48)	加藤 誠 (農工 S44)
本間 秀和 (地生 H12)	田谷 一善 (獣医 S46)	羽田 有輝 (製糸 S43)	千田 武 (織高 S46)
木村 雅俊 (化工 S48)	遠藤 幸一 (工化 S46)	澤田 孚夫 (機械 S40)	宇野 亨 (電気 S55)
安田 義道 (応物 S47)	近藤 聡 (情コミ H18)	加藤 美治 (MOTH21)	齋藤 隆 (生学院 H11)

### 常務理事 (平成24・25年度)

理事長 渡邊 敏行 (材料 S61)	事業部長 渡辺 元 (獣医 S54)
副理事長 鈴木 創三 (農 S47)	〃 淵野雄二郎 (農 S43) 海外支部担当
総務部長 滝山 博志 (化工 S62)	副部長 西澤 宇一 (機シス H12) 企画担当
副部長 大里 耕司 (農工 S52) 総会担当	〃 渡辺 直明 (林 S51) 分収林担当
〃 千年 篤 (農 S58) 支部担当	情報部長 夏 恒 (機シス工博 H7)
〃 ボンサトーン・ラクシンチャローンサク (機シス院 H14) 会務担当	副部長 近江 正陽 (林産 S60)
経理部長 多羅尾光徳 (環保 H3)	広報部長 亀山 秀雄 (化工 S48)
副部長 斎藤美佳子 (工化 H1)	副部長 野村 義宏 (農化 S59) HP担当
	〃 野口 恵一 (材料 H1) 〃
	〃 馬場真知子 (林学院 S51) 会報担当
	〃 富永 洋一 (物生 H7) 〃

### 監 事 (平成24・25年度)

深水 智明 (織工 S38)  
 生原喜久雄 (林 S41)  
 竹内 道雄 (農化院 S50)

### 事務局長 (平成24年度) 山田 昭一

(平成25年度) 池谷 紀夫 (農 S49)

## 同窓会支部長及び連絡員 (平成25年6月14日現在)

支部名	支部長名	連絡員名	支部名	支部長名	連絡員名
北海道	長谷川周一 (農工S46)	宇野澤正美 (農工S46)	大阪	佐々木良和 (農工S39)	乗藤 幹男 (電子H1)
青 森	野村 昌志 (農工S39)	大橋 統州 (農 S54)	京 都	植村左千夫 (林 S20)	西村 寿 (農工S50)
秋 田	野村 俊悦 (農 S44)	吉田 育男 (植防H4)	滋 賀	勝田 謙次 (織化S34)	南井 隆 (林 H1)
岩 手	黒田 榮喜 (農 S52)	藤原 哲雄 (農 S60)	奈 良	太田 道明 (農工S42)	望月 昇 (化工S57)
山 形	河野 読 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)	和歌山	毛呂 眞 (林 S41)	中村 純子 (環・資H6)
宮 城	田畑 正紀 (林 S55)	佐藤 大輔 (林 H4)	兵 庫	橋田 勝明 (獣医S46)	安徳 剛志 (林 S59)
福 島	生沼 俊夫 (養蚕S35)	三森 裕 (生産H1)	岡 山	内藤 照章 (獣医S34)	佐藤 和久 (農 S54)
茨 城	川村 重信 (養蚕S40)	藍原 伸夫 (蚕糸S59)	広 島	藤本 修身 (農化S44)	三宅 信行 (環保S55)
栃 木	村松梅太郎 (獣医S39)	南木 好樹 (農工S58)	山 口	赤木 道博 (獣医S49)	岡本 賢一 (植防H4)
群 馬	小野宇三郎 (織別S33)	唐澤 道央 (生産H7)	鳥 取	西尾 邑次 (農S17・9)	小林 壽 (製糸S24)
埼 玉	善林 六朗 (農 S40)	強瀬 道男 (農学S59)	島 根	中尾 清治 (農工S34)	松浦 史瑞 (林産H1)
千 葉	中村 圭一 (林 S39)	豊田 祐輔 (蚕糸H3)	香 川	岡崎 進 (獣医S38)	河野 幸彦 (林 S63)
東 京	馬場 信行 (林 S35)	山本 賢 (農工S43)	徳 島	長谷川 進 (工化S47)	小杉純一郎 (林 S63)
神奈川	則武 宏一 (農工S41)	笠木 一行 (農工S62)	高 知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)
新 潟	佐藤 修 (農工S40)	村山 康則 (農 H3)	愛 媛	門屋 一臣 (農 S33)	白石 郁朗 (農 S46)
富 山	青木 誠 (農 S37)	加門 克己 (環・資H6)	福 岡	西田 晴二 (獣医S41)	白石 哲広 (林産S50)
石 川	北川 康一 (農工S46)	西山 宏 (環・資H6)	佐 賀	御厨 秀樹 (植防S56)(代行)	御厨 秀樹 (植防S56)
福 井	友田 慶一 (織工S42)	新海 隆介 (環・資H12)	長 崎	片岡 正登 (製糸S48)	古賀 淳士 (農 S52)
山 梨	山下 健市 (養蚕S34)	原 昌司 (蚕糸S60)	熊 本	小邦 徹 (林 S41)	小野亮太郎 (農 S63)
長 野	鮎澤 光昭 (養蚕S42)	城取 和茂 (農工H3)	大 分	吉長 倫仁 (養蚕S45)	古長 茂重 (林産S63)
岐 阜	武野 明義 (織高S60)	安田 勝年 (製糸S42)	宮 崎	小崎 宏 (農 S45)	松山 隆二 (林産H5)
静 岡	水口 衛 (獣医S29)	五十嵐香介 (地生H15)	鹿児島	上原 武志 (植防S42)	平 繁人 (養蚕S45)
愛 知	上井 和彦 (農 S33)	水野銚一郎 (農 S42)	沖 縄	城間 恒紀 (農化S42)	河口 哲也 (応生H6)
三 重	吉田 譲 (獣医S45)	古野 優 (獣医S60)	横濱会	松島 稔 (製糸S37)	加藤裕二郎 (製糸S44)

# 叙勲受章にあたり

## 身に余る光栄

鈴木 正敏（養実S18）

平成24年、満88才に達した翌月の3月15日、高齢者叙勲伝達式があり、大村知事より瑞宝双光章を戴きました。そろそろ身辺を整理して子供達に後事を託そうと思っていた頃でしたが、私には、陛下から「健康に気をつけて、これからも次世代の人達に範を示して下さい」とのお言葉であると思い、心底から「よーし、もう少し頑張ろう」と言うファイトが湧いてきました。

私は昭和18年、東京高等蚕糸学校養蚕実科を卒業し、同年蚕試豊川支場に奉職、栽桑係長、本場技術第1科長、農総試蚕業研究所栽桑研究室長を経て、昭和48年尾張蚕業指導所次長に転出、同51年繭検定所長に補され、同55年定年退職しました。蚕糸一筋に38年間勤めることができ本当に幸せでした。

### 〇心に残る師の一言

①卒業間近になった時、担任の渡辺静夫先生から開口一番「役人になれ、月給は安いが年金があるぞ、就いては俺の同級生の服部君（豊川支場長）から1人ほしいと言ってきたから行ったらどうか、本校も安売りはしない方針だからね」と言われました。今、年金の有難さを感じています。②最初は化学分析部主任の小山総夫氏（栽桑S10）の下に配属され本務の外に「同窓会には必ず出席して先輩に早く顔を覚えてもらえ」とか、宴席では「新人は先に徳利を持って注いで廻れ、酒に溺れるな、余興の1つくらい覚えろ」等の处世訓を教わりました。氏はその後、支場長、本場長、農総試蚕研所長となられ、私も影を追うように仕え薫陶を受けました。氏は又、野球が大好きで職場チームを作り監督になられ、私も選手として参加しました。退庁後、日の暮れるまで毎日のよう

に練習した甲斐あってか地元の軟野連盟ではAクラスにランクされるようになりました。懐かしい思い出です。③蚕業指導所では前任の丹羽鉀二さん（養蚕S17）から「尾張の人達は反骨精神が強く、上からの押しつけがましい事を嫌う、然し、誠意が通じればトコトン協力してくれるからね」と言われ養蚕団体との連絡、協調に努めました。④繭検定所長の辞令を戴き主管課の岡秀樹園芸農産課長に挨拶に行った時「やあ、お目出度う、だがねえ、2、3の人から検定所へ素人ばかり送りこんで大丈夫かと言われているので、後指を指されないよう頑張ってくれ」と言われ心して勤めました。

### 〇余生をボランティアに

退職後は地元の県事務所に嘱託として数年勤めた後、町区長会副会長、同老人クラブ会長、農・林協組、選管、社教、文化協会等の理事、委員などを勤め平成10年、町表彰条例による表彰を受けましたが現在は無職で、ゲートボール、民謡、友人との囲碁を楽しむくらいです。健康のための野菜作り、ジョギング等もしています。伝統ある農工大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。



# 退職にあたり

農学研究院教授

亀山 純生



私は東京農工大学には、昭和58年10月一般教育部（工学部所属）に倫理学担当として着任し、その後一般教育部廃止に伴い平成7年に農学部配置換えとなりました。本年3月の定年まで、29年半もお世話になりました。まことにありがとうございました。

この間一貫して教養教育改革に携わり、基礎ゼミや一般教養・科学技術教養の並置など、農工大独自の教養教育の骨格を定めた平成12年改革（通称グリーンブック）の実現にも関わることができました。また農学部では、全国で初めて人文社会科学を農学の中に位置づける地域生態システム学科の創設に関わり、総合農学をめざす農学部の歴史的事業にも参加できました。混迷する日本社会の行く末を考える時、学生が社会の中堅として活躍する30年先を見越した骨太くブレない教養教育や総合農学の充実は決定的意義をもつように思われます。

未来を担う科学技術者養成をめざす本学のかかる重要な事業に参加できた光栄に感謝しつつ、農工大の一層のご発展をお祈りします。

農学研究院教授 高橋 幸資（農化S45）



昭和41年4月に農芸化学科に入学し、6年後大学院を修了して同窓会員になりました。当時は木造校舎で実験台も外国人教師に合わせて背が高く、古びていたが漆塗りの木製でした。建物新営、学科増設、研究施設新設が相次ぎ、農学部のまさに発展する時期でもありました。所属した研究室が部会のお世話をしていたので、学生時代から同窓会に関わり、11年後助手として戻ってからは、本会の常務理事が回ってきてその後途切れなく本会に関わりました。特にこの10数年、歴代会長はじめ皆様の温かいご支援を頂いて、本会の運営の充実と改革を進める役を不十分ですが果たせたことは、有難いことでした。同窓会は目前の利害のない集まりです。ある意味無目的な会ですから、その原動力は同窓個々人の意識に依存します。個々人の意識ですから強制することはできません。しかし、ほっておけば意識は強まることはありません。生き物と同じように日頃から手入れすることが大事です。

長い間有難うございました。同窓会の益々の発展をお祈りします。

農学研究院教授 田谷 一善（獣医S46）



本学獣医学科を卒業後、42年間「生殖内分泌学の研究」と「獣医生理学」の教育に専念するとともに国際学術交流や社会貢献活動に携わってきました。

国際学術交流としては、米国パデュー大学との夏季学生交換交流事業に携わりました。この交流は、大学での講義、企業や公共団体でのインターンシップとホームステイを中心にした大学・企業・市民の3者による国際交流でした。このプログラムでは、2001年9月11日の米国同時多発テロ事件の時に、本学の学生さんが米国に足止めとなり、帰国まで大変な苦勞をしたことが懐かしい思い出となっています。その翌年の2002年5月に、当時の岸田文雄文部科学副大臣ら一行と共に、本学から4名の教授がアフガニスタン・カブール大学を訪問して、大学間協定を結び、カブール大学の若手教員に学位を習得させるプログラムがスタートしました。学内には、カブール大学復興支援室を設置して、本学が高等教育支援を通してアフガニスタンの復興を支援する体制が整いました。今では、本学で学んだ教員がカブール大学で教鞭に立ち、祖国の復興に向けて努力を続けています。アフガニスタンの治安が回復して、いつの日か、再びカブール大学を訪問して、学生さんに講義をしてあげられる日が来ることを願っています。

大学教育の一環として、馬術部の顧問教員を20年間、ミニホースの会の顧問教員を10年間勤めました。この間に、学部と学科を越えた多くの学生さんと活動したことは、私の大切な思い出です。これからは、外部から、東京農工大学の更なる発展を応援しています。

農学研究院教授 豊田 隆



農林省農業総合研究所、弘前大学、筑波大学を経て、平成11年に東京農工大学へ国際環境農学専攻が創設され、地域開発政策学担当の大学院教授に着任し、14年間にわたりお世話になりました。定年退職を迎えられたのは、温かい支援を与えられた皆様の賜であり、寛容で鷹揚なお気持ちに感謝申し上げます。国際専攻主任等として大学国際化のため秋入学と特別選考、授業・論文の英語実施で学際的交流をすすめ、研究室では東アジアから東欧へ至る12カ国から留学生を迎え、連合農学研究科では11名の博士指導のうち10名が外国人です。卒業生の多くは世界各地の大学や社会

で活躍しています。言葉や文化の異なる海外の留学生たちが本学を選び、お互いに教え合って成長して行く姿は、日本人が世界に誇れるマインドの一つです。本年はシニアプロフェッサーとして大学院講義を担当します。着任時の梶井功元学長を初め、諸先輩、同僚や事務職員の皆様に、心より御礼を申し上げます。有り難うございました。

### 農学研究院教授 矢ヶ崎 一三

1983年に東京農工大学農学部へ赴任して本年2013年3月に定年退職致しました。薬学部（生理化学）を卒業後、大学院は農学系研究科博士課程（栄養化学）を修了、製薬会社研究所（薬理学）へ就職した後、農工大農学部で約30年間を過ごしました。最初は農芸化学科・食品化学研究室、その後は応用生物科学科・栄養生理化学研究室で食べ物の研究と教育を行ってまいりました。それぞれの場所で学んだことは一見ばらばらのようにですが、ことになった観点から化学と生物学を基礎とした分野を体験できたと考えております。最終的には「食理学」という概念でまとめることができました。着任の数年後には博士課程が設けられたこともあり、卒論生、修士課程、博士課程の優秀な学生諸君とも巡り合えて、楽しくすごすことができました。若いころは研究費をいくら申請しても採択されず、つらい思いも致しましたが、今考えれば修行の過程と懐かしく思い出しております。定年まで無事勤められましたのも、関係の皆様のおかげと深く感謝いたしております。

### 工学研究院教授 小宮 三四郎

昭和57年7月、東京工業大学資源科学研究所から当時の東京農工大学工学部資源応用化学科に助教として赴任してから31年が過ぎました。そして平成25年3月に定年退職の日を迎えることになりました。農工大では公私にわたりいろいろなことがありましたが、今は全てが懐かしくも楽しい思い出です。この間、有機遷移金属化学に関する研究と応用化学系学生の教育を楽しみながらそして苦しみながらも続けることができたことに心から感謝いたします。本学が未だ牧歌的雰囲気か漂っていた時代に赴任し、その後博士課程の設置、学科や大学の改組、法人化等を経て、今工学部は産学連携を旗印にして進んでいます。私は、本学では一般教養のみならず専門家を育てるための基礎教育の不足を常々感じてきました。加えて、世界がグローバル化した今、日本はゆとり世代の若者の教育の難しさに直面してい

ます。今は農工大が将来向かうべき道の岐路にいるように思います。大学として最も大事なことは、教員一人一人の自由で独創的な研究が継続的に行われ、その成果が世界へ発信されていることと、教職員学生間の信頼あるコミュニケーションを基盤とする親身な基礎教育が充実していることではないでしょうか。小手先の努力では実現できない難題ではありますが、農工大が世界に誇る素晴らしい大学であり続けることを祈念いたします。

### 工学研究院教授 堤 正臣

農工大にお世話になって27年、その前の東京工業大学時代を含めると37年間大学で教育・研究に打ち込めたことを大変に幸せであったと思っております。特に、農工大に来てすぐから“博士後期課程学生を入学させなければならない。”というプレッシャーがあったことが、今の自分へと成長させたと思っています。日頃からめぼしい学生に声をかけ、進学を勧めてきました。そのような学生が入ってくれたおかげで新しい分野を確立でき、さらにその業績が国際的にも認められるようになりました。学生と連名でもらった賞が30件を超えています。これは、多くの学生が斬新なアイデアを提案してくれたからです。多くの企業や団体との共同研究も実施できました。この4月からは広報・国際担当理事・副学長を拝命し、2年間全力で本学の発展のために尽力していく所存であります。よろしくご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 工学研究院教授 寺田 松昭

企業で29年間研究開発に従事した後、平成11年4月に工学部情報コミュニケーション工学科に着任して14年間皆様には大変お世話になりました。教育では約80名を数える学生とゼミでの活動、卒修論指導などを通じて楽しく過ごさせてもらい、元気をもらいました。研究では、企業時代も含めて一貫してコンピュータネットワークに取り組みました。農工大着任のころからはインターネットの急速な発展時期で、若い学生の皆さんのフレッシュなアイデアを取り入れつつ、多くの新しいシステムやサービスを提案できたことを嬉しく思っております。管理運営では総合情報メディアセンター長、CIO補佐、学科長などを仰せつかり、関係の事務の方々の支援を得ながら何とか職務を遂行し、教育・研究とは異なる得難い経験を積ませていただきました。最後になりましたが、農工大の益々の発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

# 平成24年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業とは、母校援助の一環として本学学生の皆さんの学会発表やコンテスト・コンクールへの出場、学科の選考による優秀卒業論文表彰、種々の課外活動に対して援助金を支給し、支援する事業です。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成24年度の援助金総額は5,297,000円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	513名	2,565,000円
学会発表 <入賞>	38名	380,000円
コンテスト・コンクール <出場>	7名5団体	85,000円
コンテスト・コンクール <入賞>	5名5団体	100,000円
優秀卒業論文	8学科	80,000円
課外活動 <学園祭>	2件	200,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーズトレーニング>	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,760名	717,000円
合 計		5,297,000円



※詳細については、同窓会ホームページ (<http://www.tuat-dousoukai.org/>) をご覧ください

## キャリア・アドバイザーを終えて 櫻井 邦雄（農化S37）

キャリア・アドバイザー制度が出来て、今年の3月末で10年半経ちました。この間延べ1,700人を超える学生が農学部の相談室を訪れました。

進学か就職か、民間か公務員か、志望する業界や企業の見極め方、エントリーシート特に専門性に基づく志望動機の書き方と添削、面接の受け方、模擬面接をやって欲しい等あらゆる種類の相談を引き受けて、学生諸君とともに考え、試行錯誤で進めて来ました。近頃は就活の解禁が12月と遅くなり12月から翌年6月頃に学生が集中し、この期間は大忙しとなります。

学生の志望先は公務員3割、民間企業7割です。公務員志望者は各省庁、各都道府県のOB・OGのネットワークが比較的整備されており、同窓会の検索システムを使わせて頂いて支部連絡員や先輩の方々への連絡もでき、県農政の課題など何う機会も作られ、学生の努力次第で就活の準備がきちんと出来るかたちになっています。また先輩公務員の活動の様子は先生方も良くご存知で、随時適切な支援指導が成されているようです。

一方の民間企業については、学生の大半が製造業志望。なかでも食品企業が圧倒的です。我々の頃は大学の講義は農産製造、畜産製造など製造学が必修でしたが、今はどの学科・専攻でも生物学が主流しかも分子生物学中心、学生は製造業のイメージが掴めず、専門性に根ざした志望動機や入社してから何をやりたいのかなどを思い描くのにも苦労しています。

また我々の頃は多くの工場や研究所の見学が出来、生きた企業の姿を見聞きすることが出来ました。いまは殆ど行われていないようです。

今後はOB・OGが積極的に関与する、食品企業の実態が判る講義やまた企業見学の機会を是非作っていただきたいと思います。

そのためには大学全体としての就職支援をどう位置付け、どのような施策を行ってゆくことが望ましいのかを構想し、実態把握と企画立案、遂行を図る一元化された司令塔の存在が是非大学中枢部に必要であると考えます。

# 部会・支部・クラス会だより

## 部会・支部だより

### 北海道支部



日 時 平成24年12月1日（土）  
 開催場所 KKRホテル札幌 参加人数 24名  
 派遣理事名 渡邊 敏行理事長  
 実施事項 平成24年度総会及びミニ講演会開催  
 幹事・報告者 宇野澤 正美（農工S46）

#### <幹事のコメント>

当日は、日中でも気温が氷点下の真冬日でありましたが、昨年より多い24名の会員が全道より集まりました。

平成24年度の事業報告や平成25年度の事業計画決定などの総会のあと、渡邊理事長より母校の近況報告と、「新しい刺激応答性材料」と題した講演をしていただきました。時代の先端を行く研究に触れ、一同大変感心いたしました。

その後の懇親会は、長谷川支部長の乾杯により開宴し、少し飲んでから各人が順番に近況等についてスピーチ。熱が入り待ち時間をオーバーする人が続出しましたが、何とか全員が終わったあと、岡田俊夫氏（48農学科卒）の歌唱指導により「校歌」、「駒場小唄」などを合唱し、大変な盛り上がりのおかげで万歳三唱して散会しました。なお、当日は「嵐」の札幌講演とぶつかり、理事長の宿が少し遠くになってしまいご不便をおかけしました。

### 青森県支部



日 時 平成24年11月10日（土）  
 開催場所 ラ・プラス青い森（青森市）参加人数 13名  
 実施事項 同窓会のFacebook（青森県）の設置について、  
 その他会員の近況報告など  
 幹事・報告者 大橋 統州（農S54）

#### <幹事のコメント>

北国の晩秋、めっきり寒くなりました。  
 近年は隔年で開催していますが、恒例の近況報告で、あと数年で退職という声が多くなりました。

その一方で、新入会員1名の参加があり、楽しいひとときを過ごしました。でも、酒量は落ちたような気がします。

### 秋田県支部



日 時 平成24年9月29日（土）  
 開催場所 協働大町ビル（秋田市）参加人数 17名  
 派遣理事名 鈴木 創三副理事長  
 実施事項 鈴木副理事長によるミニ講演会「放射性核種セシウムと粘土鉱物パーミキュライトの関係」と農工大の近況について、会計報告、会員の近況報告  
 幹事・報告者 吉田 育男（植防H4）

#### <幹事のコメント>

例年に比べ少ない参加での開催でしたが、鈴木副理事長の農工大への愛情にあふれる近況報告に農工大ブランド焼酎「賞典祿」をまじえての懇親会、そしてその中で語られる恒例の会員近況報告などで大いに盛り上がり、毎年歌っていた学歌の合唱もついつい忘れるほどでした。

### 宮城県支部



日 時 平成24年7月21日（土）  
 開催場所 ホテルJALシティ仙台 参加人数 17名  
 派遣理事名 野村 義宏常務理事  
 実施事項 第1号議案 平成23年度収入支出決算について  
 第2号議案 平成24年度収入支出予算について  
 幹事・報告者 佐藤 大輔（林H4）

## &lt;幹事のコメント&gt;

東日本大震災以降2回目となる宮城県支部総会が開催されました。震災復興の中、昨年の参加者よりは若干増加しましたが、コンパクトにまとまった総会となりました。

総会では、議案について異議無く承認された後、本部来賓の農学部野村義宏准教授から、「サメの有効利用」と題し、大学発の事業創出や実用化に向けた取組みなどの研究成果について御講演頂き、フカヒレで有名な当県の気仙沼市での活動や、震災後の復興に向けての今後の展開などについて貴重なお話を伺いました。

総会に引き続き開催された懇親会では、新しい参加者をはじめとして、若手会員や女性会員の参加が多く得られたこともあり、盛会に終えることができました。

## 福島県支部



日 時 平成24年7月7日(土)  
 開催場所 福島ビューホテル 参加人数 39名  
 派遣理事名 鈴木 創三副理事長  
 実施事項 (議事内容)平成23年度事業報告、平成24年度事業計画の承認、役員改選(講演・討論会等)鈴木副理事長から農工大の近況について、学位取得の報告について、懇親会  
 幹事・報告者 阿部 正久(林H5)

## &lt;幹事のコメント&gt;

総会終了後の懇親会では、鈴木教授から母校の近況や同窓会本部として取り組んでいる活動についてご紹介をいただき、今年3月に学位を取得された齋藤隆氏(生シ院H11)から「農作物によるデILDリン吸収特性の解明とキュウリのデILDリン吸収抑制技術の開発」について報告がありました。さらに、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気ですべて進行しました。

会の閉めは、柳沼泰衛顧問(養蚕S31)の万歳三唱により行い、参加者の面々は来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

## 埼玉県支部



日 時 平成24年10月27日(土)  
 開催場所 パイオランドホテル 参加人数 24名  
 派遣理事名 渡辺 元常務理事  
 実施事項 平成23年度事業報告並びに決算報告について、平成24年度事業計画並びに予算案について、渡辺元教授から大学の近況報告  
 幹事・報告者 強瀬 道男(農S59)

## 神奈川県支部



日 時 平成24年9月8日(土)  
 開催場所 オークラフロンティアホテル 参加人数 27名  
 派遣理事名 渡辺 元常務理事  
 実施事項 平成23年度決算及び監査報告について、平成24年度予算の承認について、神奈川支部50周年記念事業について、渡辺教授からの農工大の近況について、懇親会  
 幹事・報告者 青木 稔(獣医S54) / 荒井 信行(獣医S57)

## &lt;幹事のコメント&gt;

支部会員出席者27名に本部理事会から派遣理事として渡辺獣医学科教授を迎えて開催しました。総会では2年後の支部50周年行事も議題に上り、支部HPの立ち上げが報告されました。先生からは大学の近況として本部同窓会50周年記念会館完成や共同獣医学科の取り組みなど詳しいお話があり、また農工大TLO株式会社の取り組みにつき、深水取締役から説明がありました。

懇親会では新たな試みとして実施した、農工大学現役吹奏楽部学生によるフルートとバイオリン二重奏が好評であり、大学校歌の生演奏もリクエストされ、演奏に合わせてグリーンクラブ顧問でもある渡辺教授と獣医学科29年卒最古参出席者の校歌斉唱も飛び入り、大いに盛り上がりました。

## 富山県支部



日 時 平成24年3月10日(土)  
 開催場所 しゅん家(富山市) 参加人数 16名  
 派遣理事名 鈴木 創三常務理事  
 実施事項 平成23年度収支決算報告、役員改選、鈴木常務理事より大学の近況報告、会員の近況報告  
 幹事・報告者 加門 克己(環・資H6)



<幹事のコメント>

当日は1年ぶりの方、久しぶりの方等が顔を合わせ、お互いの近況等について和気あいあいと語り合いました。

また、本部よりご参加いただいた鈴木先生からは、大学の近況等について情報提供があり、皆、昔の学生時代と重ね合わせて聞いていたように思います。

想像はしていましたが、農工大も女性が多くなってきたのですね！

**石川県支部**

日 時 平成25年3月1日(金)  
 開催場所 吟の小判(金沢市) 参加人数 16名  
 実施事項 総会及び懇親会  
 幹事・報告者 西山 宏(環・資H6)

<幹事のコメント>

まだ肌寒い3月初旬に総会及び懇親会を開催した。年度末の慌ただしい時期でもあり、参加者は16名となったが、初参加の5名を迎えての開催となり、大学の近況や昔話等、時が経つのも忘れて語り合っていた。今後も幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の和を広げていくこととしたい。

**福井県支部「けやき会」**



日 時 平成25年3月9日(土)  
 開催場所 割烹おお田 参加人数 15名  
 派遣理事名 朝倉 哲郎教授  
 実施事項 支部長改選、ほか  
 幹事・報告者 新海 隆介(環・資H12)

<幹事のコメント>

鳥田昭男支部長、長い間ありがとうございました。新たに友田慶一支部長を迎え、福井県支部、益々もりあがって行きましょう。また友田新支部長より「福井県支部」の会名をつけては…とのご提案に、全員一致で賛成。「けやき会」と命名されました。あとはフェイスブックにてご報告。



**岐阜県支部**



日 時 平成24年5月20日(日)  
 開催場所 ホテルリソル岐阜 参加人数 18名  
 派遣理事名 亀山 秀雄常務理事  
 幹事・報告者 安田 勝年(製糸S42)

<幹事のコメント>

去る5月20日に、創立以来(昭和39年4月)数えて10回目の農工大岐阜県支部の総会を、岐阜駅北口前のホテルリソル岐阜で参加者18名により開催しました。この日には東京農工大学同窓会本部理事、亀山教授をお招きし、最近の大学の教育研究の取り組みについて報告を受けた。先生から、21世紀の豊かな社会を持続発展するためには、環境、エネルギー、食料分野の技術革新、いわゆるイノベーションの必要性から農学府、工学府が一丸となって真摯にその課題解決のため研究に邁進しているとの講演を聞き、その研究姿勢に驚きを感じたことであった。この後、幹事から21年から23年度までの事業活動、会計報告した後、次回開催地は、これまで一度も開催したことがなかった飛騨地域での計画を提案したところ、大いにやりましょうとの参加者の賛同をえたので、2年先には奥飛騨温泉郷でホテル経営(中尾平ホテル)されている会員にお願いすることにし、引き続き会員同士の交流会に替えて、参加者らは飲食を共にして意気投合し、大いに語り合い、参加者全員の万歳三唱の発声のもとで宴を閉幕した。

**静岡県支部**



日 時 平成25年3月2日(土)  
 開催場所 クーポール会館(静岡市) 参加人数 43名  
 派遣理事名 富永 洋一常務理事  
 実施事項 (議事内容) (1) 平成24年度事業報告 (2) 平成25年度事業計画 (3) その他(講演・演題)「所有から管理、経営へ」～仲間とつなぐ地域の森～講師: 杉山嘉英(林S52)、懇親会  
 幹事・報告者 五十嵐 香介(地生H15)

### 三重県支部



日 時 平成24年9月9日(日)  
 開催場所 新玉亭(津市) 参加人数 13名  
 派遣理事名 西澤 宇一常務理事  
 実施事項 本部総会報告、役員改選、西澤先生より母校の近況報告  
 幹事・報告者 古野 優(獣医S60)

#### <幹事のコメント>

今年も、津市の新玉亭で総会と懇親会を開催しました。岡さん、森田さん、山上さんが久しぶりに参加されました。熊谷さんが初参加でした。

93歳の岡さんが、無理して長生きするものではない、人間には皆寿命があるのだから、自然に従うのがよろしいと挨拶されました。うーん、成る程と思いましたが、歳を取ってみたいとわからないなあとつくづく感じました。

工学部出身者の参加者が少ないので、来年は奮ってご参加下さい。

### 京都府支部



日 時 平成24年7月7日(土)  
 開催場所 京都平安ホテル 参加人数 11名  
 幹事・報告者 西村 寿(農工S50) / 平野 孝志(農工S53)

#### <幹事のコメント>

7月7日(土)に復活3回目となる同窓会京都支部の総会・交流会が11名の参加で行われました。

総会では植村左千夫支部長(昭20林卒)が体調不良で急遽欠席されましたので、西村寿連絡員(昭50農生産工卒)から開会挨拶と同窓会本部総会・大学キャンパスの近況報告、事務局から支部会計報告があり、出席者最年長の續葛修一氏(昭33織工卒)の乾杯発声で交流会が行われました。

交流会では、参加者ひとりひとりから学生時代の思い出や近況報告があり、それぞれの話に聞き入りながら和やかなひとときを過ごしました。

### 和歌山県支部



日 時 平成25年1月26日(土)  
 開催場所 琴ノ浦温山荘園 参加人数 16名  
 幹事・報告者 中村 純子(環・資H6)

#### <幹事のコメント>

平成25年1月26日(土)午前11時30分より、東京農工大学和歌山支部同窓会を開催しました。

まだ風も冷たい時期でしたが、昭和23年卒から平成20年卒まで合計16名が参加し、親睦・交流を深めました。

会場となった琴ノ浦温山荘園は、世界有数のベルトメーカーのニッタ株式会社の創業者、新田長次郎氏所有の由緒ある日本庭園で、平成10年には国の登録有形文化財に、また平成22年には庭園が国名勝に、平成22年に建物が国の重要文化財に指定されています。

また、今回、支部会長について、長年勤めていただいた山本様(林S23)から、毛呂様(林S41)にバトンタッチしていただくことになりました。

### 兵庫県支部



日 時 平成24年7月7日(土)  
 開催場所 パレス神戸 参加人数 18名  
 派遣理事名 渡邊 敏行理事長  
 実施事項 弔事、平成23年度会計報告、兵庫県在住卒業生氏名一覧について、平成25年度総会について  
 幹事・報告者 安徳 剛志(林S59)

#### <幹事のコメント>

最年長は昭和32年卒業生、最年少は平成3年卒業でした。年齢や卒業学科に関係なく、楽しいひとときを過ごしました。

## 岡山県支部



日 時 平成24年8月25日(土)  
 開催場所 ピュアリティまきび(岡山市) 参加人数 18名  
 派遣理事名 淵野 雄二郎常務理事  
 実施事項 母校の近況等について、平成23年度事業報告・会計報告  
 幹事・報告者 佐藤 和久(農S54)

### <幹事のコメント>

8月25日岡山県支部総会を開催しました。本部より淵野事業部長にお出でをいただき、母校の近況について紹介をいただきました。なお、当日は、岡崎進香川県支部会長、国立市在住で倉敷芸術科学大学教授の大島誠之助さんにも出席をいただき、会を盛り上げていただきました。時間が不足するほど盛り上がった同窓会となりました。

## 広島県支部



日 時 平成25年3月24日(日)  
 開催場所 メルパルク広島 参加人数 19名  
 派遣理事名 西澤 宇一常務理事  
 実施事項 会計報告、役員承認、大学の近況報告(西澤先生から)など  
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

### <幹事のコメント>

私が連絡員になってから、支部総会で利用していた広島県庁の共済施設が宴会業務を廃止したため、会場探しに苦労しました。

当日は、マツダ(株)の同窓生のうち3名の参加があり、石田一之(機械昭和59)さんからマツダ車のラインナップと同社内における同窓会の紹介がありました。広島県支部よりも活発な活動内容で連絡員としてはうらやましく感じられました。

## 山口県支部

日 時 平成24年7月22日(日)  
 開催場所 防府グランドホテル 参加人数 10名  
 派遣理事名 西澤 宇一常務理事  
 実施事項 (議事内容) ①第49回通常総会について②平成23年度事業報告及び決算報告について③平成24年度事業計画(案)及び予算(案)について④支部役員改選について⑤平成25年度支部総会の持ち方について(講演・討論) 農工大の近況報告と研究トピックスー各メディアで報道された農工大の研究紹介ー  
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

### <幹事のコメント>

支部連絡員の岡本(植防H4)です。  
 私が支部の事務局を務めている関係で、自ずから幹事の役もこなしています。  
 事務局を務めて18年目になりますが、総会の出席者は概ね固定化され、毎年同じ顔ぶれが揃います。  
 10数年前から出席者が変わらないということは、自ずから高齢化が進んでいるということです。  
 若手が参加しやすい環境を整えなければ、さらに十数年後には総会の開催自体も危ぶまれる状況に陥ってしまいます。  
 会は毎回盛会のうちに終了していますが、敬老会(?)にならないよう、皆でない知恵を絞ってがんばっています。

## 香川県支部



日 時 平成24年10月27日(土)  
 開催場所 リーガホテルゼスト高松 参加人数 15名  
 派遣理事名 馬場 眞知子常務理事  
 実施事項 講演会、会計報告、懇親会  
 幹事・報告者 河野 幸彦(林S63)

### <幹事のコメント>

平成24年10月27日(土)に香川県支部総会を9年振りに高松市内のリーガホテルゼスト高松で開催しましたところ、15名の同窓生の参加と、同窓会本部から国際センター副所長の馬場眞知子教授のご臨席を頂き、盛大に開催することができました。

会は、最初に岡崎支部長の挨拶に始まり、馬場先生による農工大学の現在の状況報告、学内の状況をPCで見せて頂いたりした後、懇親会に移りました。

今回の総会では、初めて参加された方も多くおられ、最初は緊張気味のような感じでしたが、自宅が近くで時々お顔を合わせることがあった方が、同じ同窓生であったことが今回初めて判明したり、馬場先生のお嬢様と同級生であったり、勤務先等の近くに誰々がいたりとかでやはり世間は広いようで狭いということを実感しました。

これまでの総会では、農学部卒の同窓生が多かったイメージがありますが、今回は工学部卒の方が比較的多く出席され、しかも比較的年代が近い方々が揃っていたようで、そちらでも盛り上がっていました。

約3時間の懇親会もあったという間に過ぎ、次回は平成25

年に開催することを目標に鳥飼前支部長の締めで閉会しました。

ご参加の皆様方、ご苦勞様でした。また、次回お会いしましょう。今回参加できなかった方も、次回はよろしくお願ひします。

### 愛媛県支部



日 時 平成25年2月9日(土)  
 開催場所 えひめ共済会館 参加人数 18名  
 実施事項 事業報告、会計報告、本部同窓会・50周年記念式典参加報告、役員改選ほか  
 幹事・報告者 白石 郁朗(農S46)

#### <幹事のコメント>

2年に一度の開催が恒例の支部総会。史上初！2名もの女性を含む、18名の参加を得て和やかに開催。事務局から頂いた名簿がしっかりしているので、宛先不明の返書ゼロにまず感謝。

支部長撮影の本部同窓会・50周年記念式典・小金井キャンパスの写真を回覧しながら、門屋支部長と重松代議員から、つぶさに報告を頂く。事業報告、会計・監査報告等の承認を頂いた後、役員改選に移る。門屋一臣支部長、鈴木東義副支部長兼代議員、織田聰副支部長、重松正矩顧問等の新体制で臨むことを決定。欠席者40名のコメント、校歌・寮歌も紹介。

記念撮影の後、懇親会…。懇談の合間を縫って、全員が近況報告。この会が縁で講師に招かれたお話、退職後の老老介護、農作業従事、雑草との格闘、道の駅への出荷、同じ職場に3名の同窓生、初参加、手彫りの観音像、瀬戸内海の釣り三昧、全日本バレー女子公式ウェア、寮歌、ストライキ、止まらぬ熱弁…。2年後の再会を約し、千鳥たちは太陽がまぶしい市街へ。

### 福岡県支部



日 時 平成24年12月8日(土)  
 開催場所 平和楼 天神本店 参加人数 20名  
 派遣理事名 千年 篤常務理事  
 幹事・報告者 白石 哲広(林産S50)

#### <幹事のコメント>

前回の総会において2年毎の開催を決議した今年度の総会は、段取りが悪く忘年会シーズンの開催となってしまいました。

総会では、東日本大震災被災者への黙祷、西田晴二(獣医S41卒)支部長あいさつの後、千年先生から東京農工大の現況についてパワーポイントを使って詳しく御報告頂きました。前副支部長の小野泰治先輩(林S29卒)の乾杯の音頭で懇親会に移り、各会員からコメントを頂くなかで、諸先輩方のさすが農工大の「蛮からな校風」を彷彿とさせる話を伺うことが出来ました。最後に中野哲男先輩(養実S23卒)の締めの言葉でお開きとなりました。

今回、若手は松井司君(生産H22卒)だけでしたが、諸先輩の貴重な話を聞ける絶好の機会であり、次回は多くの会員が出席されんことを期待しております。

### 長崎県支部



日 時 平成25年3月9日(土)  
 開催場所 セントヒル長崎 参加人数 16名  
 実施事項 [総会] 支部長挨拶、会計報告、支部長選任、[懇親会]  
 幹事・報告者 片岡 正登(製糸S48)

#### <幹事のコメント>

久しぶりの(2年に1回)総会にS32年卒からH11年卒まで16名の同窓が集まりました。寮生活、当時の時代背景、東京の思いで、勉強等々、話が弾みました。過ごした時代は違っても同じキャンパスで最も楽しい時間を過ごした点は共通の様です。

若返りを図ろうということで、支部長交代(新支部長片岡正登(製糸S48))を行いました。

### 熊本県支部



東京農工大同窓会熊本県支部総会 平成25年6月1日(土) 於:熊本交通センターホテル  
 日 時 平成25年6月1日(土)  
 開催場所 熊本交通センターホテル 参加人数 24名  
 派遣理事名 千年 篤常務理事

**実施事項** 平成24年度会計報告について、会員の動き、役員改選、規約改正、その他  
**幹事・報告者** 上野 周子（植防S61）

<幹事のコメント>

千年先生より、現在の農工大学の概要（新たな140周年記念会館の状況等）について話題提供され、会員皆懐かしい大学の変遷に思いをはせました。今年は千年先生が派遣されるということで、同期入学や同時期に在籍された宮本様、大島様、蓮池様、塚田様が参加され、旧交を温めておられました。

林田氏が国政における動き等を報告されるなど、各種活動をされる会員の情報交換の場ともなりました。

熊本県支部の会員を確認するため、昨年本部より提供いただいた名簿等をもとに、6名の新規会員が判明し、うち2名が出席いただき、大変うれい会となりました。今後とも、会員の把握と出席勧誘をして参ります。

来年もまた多くの県支部会員が元気出席いただけることを祈念しています。

### 宮崎県支部



**日時** 平成24年12月1日（土）  
**開催場所** 日本海庄や 宮崎橋通り店 参加人数 17名  
**派遣理事名** 高橋 幸資理事  
**実施事項** 平成23年度実績及び会計報告、平成24年度計画及び収支予算  
**幹事・報告者** 井之上 英行（農工H4）

<幹事のコメント>

去る平成24年12月1日（土）に、宮崎県宮崎市にある「日本海庄や 宮崎橋通り店」において、会員17名の参加により、平成24年度宮崎県支部同窓会を開催しました。

総会では、「平成23年度実績及び会計報告」、「平成24年度計画及び収支予算」が承認されました。

当日は、同窓会本部へ理事派遣を申請し、前同窓会理事長の高橋先生にお越しいただきました。高橋先生から同窓会や大学の近況等の貴重なお話をいただき、会員は、卒業から長らく訪れていない母校に思いをはせながら興味深くお話を聴かせていただいたところでした。

総会終了後は、会員それぞれの近況を報告し、楽しい同窓会となりました。

### 鹿児島県支部



**日時** 平成24年11月10日（土）  
**開催場所** 和創亭くら蔵 参加人数 14名  
**派遣理事名** 大里 耕司常務理事  
**実施事項** 平成23年度事業実績及び収支決算について、平成24年度事業計画及び収支予算について、大里先生から大学の近況報告、懇親会  
**幹事・報告者** 平 繁人（養蚕S45）

<幹事のコメント>

十数年ぶりに再活動となった鹿児島県支部総会を、本学同窓会の大里常務理事をお迎えして、11月10日（土）に開催しました。

当日は、生憎の雨でしたが、15名の参加がありました。

まず、大里理事から、母校建物のリニューアル化の進捗状況、植物工場、140周年記念会館など、母校の近況を御紹介いただきました。

総会では、23年度実績と24年度計画について審議し、今後の活発な活動を確認しました。

懇親会では、平成卒業組の参加があったこともあり、先輩の焼酎グラスが空にならないようにお代わり作りもスムーズに進んで、良いピッチで心地よく懇談できました。

今回は参加できなかったが今後積極的に参画するとの返事もあり、次回の再会を楽しみにお開きとなりました。

### 横浜会



**日時** 平成24年6月15日（金）  
**開催場所** 華正楼本店 参加人数 9名  
**実施事項** 第49回通常総会の報告、横浜会会計報告及び会計監査報告、会員各位の近況報告、農工通信への原稿投稿のお願い、懇親会  
**幹事・報告者** 加藤 裕二郎（製糸S44）

## クラス会だより



イラスト：東京支部提供

### S46林学科クラス会

林S46卒



日 時 平成23年12月17日（土）  
 開催場所 「魚串・然」（港区）  
 参加人数 22名（連絡できた級友の78%が出席）  
 実施事項 卒業40周年記念の情報交換（その2）  
 幹事・報告者 横堀 誠・和田 均（林S46）

#### <幹事のコメント>

卒業40周年記念・第二弾の忘年会は8割近く出席し盛会でした。そこで出席者名を写真順に掲載します。

- 左上の1列目：大野良三・渡部来・大越春司・和田均・半田孝俊・大島和久・渡邊徹・宇佐見誠一  
 2列目：福士淳治・川口輝夫・石井正一・島村利夫・三浦慎悟・湯本達也・井上富雄・横堀誠  
 3列目：今井隆三・鈴木靖二・松本滋夫・豊福正巳・稗田政義・高橋正夫

なお、北村孝児君の転居先が分かれば大学同窓会までお知らせ願います。

### けやき会

林S29卒



日 時 平成24年5月8日（火）  
 開催場所 箱根・大平台温泉「大平荘」  
 参加人数 12名  
 実施事項 傘寿記念旅行  
 幹事・報告者 岩崎 克己（林S29）

#### <幹事のコメント>

昭和25年3月、我われは新制大学2期生として入学、戦後の衣食住の不足、お米持参での演習林実習、競馬場でのアルバイト、砂川紛争など混乱期に学生生活を送った。

昭和29年3月、クラスの35名が今流で言う氷河期の就職難の社会に飛び込んだ。

以来、早や57年の歳月が過ぎ去り、23名が今年80歳、目出度く傘寿を迎えた。

これを記念に箱根・大平台温泉に12名が集い、傘寿記念クラス会を開催した。

### 養蚕学科S29卒業クラス会

養蚕S29卒



日 時 平成24年7月9日（月）  
 開催場所 ホテルプリランテ武蔵野（さいたま市）  
 参加人数 7名  
 実施事項 近況報告・親睦  
 幹事・報告者 郡司 教康（養蚕S29）

#### <幹事のコメント>

川上幹事から私達も80歳を過ぎ、とにかく集まろうやとの熱い呼びかけで、6県に散らばる稲垣・金田・亀田・川上・郡司・関・瀬戸川が交通の中心であるさいたま市に集まった。

近況報告を中心に快談、健康に留意し生き、次会を(?)で散会。

## 昭和43年入学農学科・養蚕学科合同クラス会Ⅲ

農・養蚕S47・48卒



日 時 平成24年10月13日(土)  
 開催場所 東京駅「オールドステーション」  
 参加人数 16名  
 実施事項 親睦・近況報告  
 幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

### <幹事のコメント>

一昨年から始まった合同クラス会も今回で3回目となりました。3時間6品飲み放題の若向き(?)メニューで紅白のワインを嗜みながら、気品と格調ある(?)思い出話、入院・治療生活、娘・孫の話などに花が咲きました。

堀氏からはアマダグジ抽選による新米900gプレゼントがあり、京都から駆け付けた長氏、金沢から戻られた加藤氏など当選者は大喜び。

来年6月の東京大会、地方大会の適時開催を承認して、めでたく三本締めでお披露喜となりました。

## 機械工学科S40年卒同期会

機械S40卒



日 時 平成24年10月18日(木)  
 開催場所 八重洲富士屋ホテル  
 参加人数 24名  
 実施事項 親睦・近況報告  
 幹事・報告者 木曾 三郎(機械S40)

### <幹事のコメント>

今年も個性溢れる面々が24名集いました。

我々の同期会は卒業論文研究室単位の幹事輪番制で開催されており、毎年20～25名の参加者がおり、盛況裡に終始しています。

今年もご多分に漏れず、趣味、健康、家族、ボランティア、昔話等情報交換・近況報告を行いました。また、3時間の所要時間では足りないくらい談笑・飲食に耽っており、次会の参集を約して散会しました。

開催日が東京駅改装工事完了後、間近であったことから、各人がその歴史的建造物を鑑賞後、帰路につかれたことと思います。

## S31農学科・農芸化学科合同クラス会

農・農化S31卒



日 時 平成24年10月25日(木)  
 開催場所 「響」(有楽町イトシア店)  
 参加人数 農学科6名、農芸化学科4名  
 実施事項 情報・近況交換、親睦  
 幹事・報告者 渋谷 成美(農S31)

### <幹事のコメント>

平成18年から毎年合同でクラス会を開催していますが、今年は北海道、福島からも参加して頂き、近況のほか、懐かしい学生時代、原発、津波、世界情勢、家族のことなど広範囲の話に花を咲かせました。

何が起きてもおかしくない歳になりましたので健康を維持し、ボケ防止のため来年も開催しようと決めました。

参加できる同期の方をお待ちしています。

## S46林学科クラス会

林S46卒



日 時 平成24年12月15日(土)  
 開催場所 「魚串・然」(港区)  
 参加人数 18名(連絡できた級友の62%が出席)  
 実施事項 卒業41周年記念の情報交換  
 幹事・報告者 横堀 誠(林S46)

### <幹事のコメント>

今年もたくさんの級友が参加しました。

写真の上段左から大島・三浦・松本・大越・鈴木・佐野・川添・横堀・山口、中段：川口・蓮尾(古川)・和田、下段：宇佐見・湯本・高橋・岡田・稗田・半田の18名です。

## 農芸化学S41同期の会

農化S41卒



日 時 平成25年3月16日(土)  
 開催場所 がんこ銀座一丁目店  
 参加人数 13名  
 幹事・報告者 高橋 幸資(農化S45)

### <幹事のコメント>

幹事坂野氏の尽力で、常連であった赤井さんの逝去もあり、3年ぶりの開催となった。

35人のうち都合付かなかった15人を除いて13人の参加で、団塊の世代を鼓舞する賑やかな会となった。

母校を定年退職する高橋の最終講義のあり様、各人からの近況・想いでの話しと突っ込みで感心と笑いが交錯し、活力を湧かせるひと時となり、次回を約して散会した。

## ESS(英語会話部)OB会総会



日 時 平成25年3月30日(土)  
 開催場所 140周年記念会館多目的ホール  
 参加人数 30名  
 幹事・報告者 釣屋 政弘(生機S54)

### <幹事のコメント>

ESS(英語会話部)OB会総会が3月30日、およそ30名の参加者を迎え農工大学140周年記念会館多目的ホールで開催された。

写真は、総会後の全体写真である。第1回のESS OB会は1971年1月に現役とOBの親睦を兼ねて行われた。1974年1月にOB会の組織化が行われ、その年にOB会報も創刊された。OB会報は年2回の発行を続け、今年1月号で第78号を迎えた。来年はOB会報40周年を迎え、第80号が発行される予定である。

OB会の活動は幅広く、総会だけでなく、夏季旅行、テニス・ゴルフ大会を始めとする各種スポーツ大会などを行ってきた。今回の総会では、40年の活動をOB会報で振り返り、またOBメンバーの近況報告を行った。1時から5時迄の総会であったが、最後は時間が足りなくなるほどの盛況な総会となった。

現在130名あまりの会員で構成され、農工祭の時期にOB会開催を恒例としている。英語のクラブだけに企業や公的機関の駐在員や海外雄飛を実現したなど、海外で活躍中或いは活躍されていた会員も多く、その活動範囲はアジア、欧米、アフリカ、オセアニアなど世界中に広がっている。またOB会の分科会も米国や欧州で何度となく行われている。

## 林学科S44年卒クラス会

林S44卒



日 時 平成25年4月6日(土)  
 開催場所 割烹「三河屋」  
 参加人数 14名  
 実施事項 近況報告・親睦  
 幹事・報告者 白井 久(林S44)

### <幹事のコメント>

西からの低気圧が接近し天候が危ぶまれた中、久し振りに新潟から志村君も参加し、ご来賓の高橋明善先生を含め14名で開会した。

会は、出席者一人ひとりから、健康、家族、仕事など近況報告を行い、高橋先生からは、ご趣味の短歌を始められてから今までに2500首詠まれたことをご披露されました。

会の終わり頃には、学生時代の懐かしい「ペロリ節」を全員で歌い、次回の再会を期して解散しました。次回幹事は大島君と小川君に決まりました。

## 繊維学部繊維工学科昭和31年卒クラス会

織工S31卒



日 時 平成25年5月27日(月)~28日(火)  
 開催場所 軽井沢 涼山荘  
 参加人数 9名  
 幹事・報告者 入枝 利夫・高井 英雄(織工S31)

### <幹事のコメント>

繊維学部繊維工学科昭和31年卒のクラス会を、去る5月27日~28日に軽井沢にて行いました。

参加者9名、傘寿を迎え、みな元気でした。

写真左から、輿石、高井、入枝、市川、小林、見谷、沖、高田、長谷川。

(写真:旧三笠ホテル前にて)



# 掲 示 板

## 活動内容の類似した会員集団 又は同好の会員集団からなる部会の設置申請受付中

同窓会では、2012年12月14日から従前の部会の外に「活動内容の類似した集団部会」の設置が可能となりました。設置を希望する会員は規程・細則等を参照のうえ、申請方お願いいたします。

申請に関する規程・細則等の詳細は、同窓会ホームページ「集団部会設置申請方法」をご覧ください。<http://www.tuat-dousoukai.org/>



## 遠藤章特別栄誉教授が「全米発明家殿堂」入り、 さらに「全米発明家アカデミー」のCharter Fellowに選出

2012年5月遠藤章特別栄誉教授が、米国の非営利団体 The National Inventors Hall of Fameによる「発明家殿堂」入りされました。

2012年度新たに殿堂入りするのは、アップル社創設者の故スティーブ・ジョブズ氏ら10名で、遠藤特別栄誉教授は日本人では初めての殿堂入りとなり、コレステロール値を下げる薬の基となる物質「メバスタチン」を発見し、人類の福祉に貢献したことが高く評価されました。

さらに、2013年5月、米国の非営利団体「全米発明家アカデミー（The National Academy of Inventors (NAI)）」によるCharter Fellowとして選出されました。

NAIは、2010年に設立され、大学、研究機関に所属しており、米国の特許を取得していること等が会員の条件です。遠藤特別栄誉教授は、先に全米発明家殿堂入りしており、同殿堂の11人、ノーベル賞受賞者8人を含む98人の発明家の一人として選出されました。

## リーディングプログラムに採択

本学は、平成24年度、「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されました。本学でのリーディングプログラムは「グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院」という名称で、「食料生産の大部分を石油エネルギーに依存する世界的危機」から脱却し、非石油依存型食料生産の時代を創出する人材を養成することを目的としています。

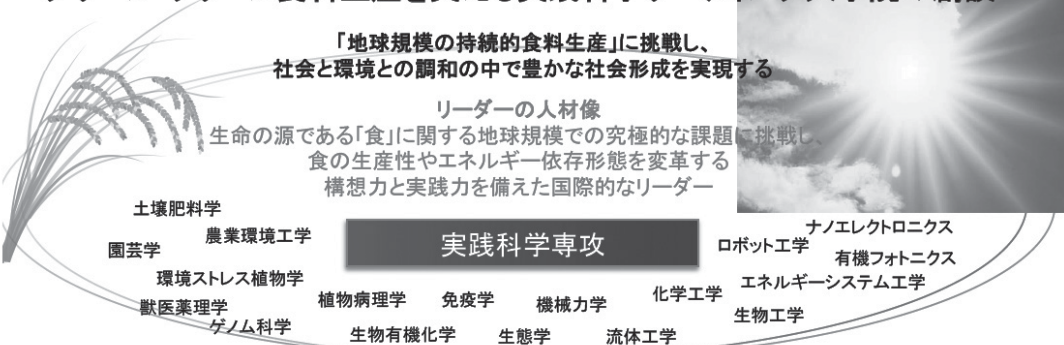
このプログラムでは、優秀な学生を俯瞰力と独創力とを備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くための様々な取組みを推進し、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士前期・後期課程一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開

### グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設

「地球規模の持続的食料生産」に挑戦し、  
社会と環境との調和の中で豊かな社会形成を実現する

リーダーの人材像

生命の源である「食」に関する地球規模での究極的な課題に挑戦し、  
食の生産性やエネルギー依存形態を変革する  
構想力と実践力を備えた国際的なリーダー



する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を目指しています。

本学位プログラムにより学位授与者数は、年当たり、20名を目標としています。

## 科学博物館がリニューアル

2012年10月2日(火)、小金井キャンパスにおいて、科学博物館本館の耐震補強工事および機能改善のための改修工事が完了したことを記念し、科学博物館リニューアル記念式典が挙行されました。

本式典には、来賓として長坂潤一文部科学省大臣官房文教施設企画部技術参事官のほか、国・私立大学関係者、博物館関係者および近隣自治体関係者ら約250人が出席し、松永是学長の挨拶、梅田倫弘科学博物館長からリニューアルに関する説明および長坂技術参事官から「リニューアルを機に科学博物館の更なる活躍を期待する」との挨拶があり、中澤靖元工学研究院助教からリニューアルした科学博物館の概要説明がありました。その後、記念講演として、JAXA運用飛行士運用グループ長の山口孝夫氏から「宇宙服開発の歴史と展望—繊維素材の観点から—」と題し、国際宇宙ステーションにおける宇宙飛行士の活躍、宇宙服の機能、米露の宇宙服の特性、JAXAでの開発状況と我が国産業への期待などについて講演されました。

本式典終了後には、科学博物館本館正面玄関において、関係者によるテープカットが行われた後、出席者による内覧会を行い、江戸時代・明治時代の蚕織錦絵、世界初の人工繊維シャルドンネ人絹（じんけん）、繊維機械などの他、リニューアルに併せJAXAから借用した「宇宙服」、常設展示室として新たに設置された「遠藤 章東京農工大学特別栄誉教授顕彰記念室」に展示されたラスカー臨床医学研究賞のトロフィーや日本国際賞のメダルなどの貴重な展示品に参加者は熱心に見入っていました。

本学小金井キャンパスのお近くにお住まいの方、また本学においての際は是非お立ち寄りください。

**東京農工大学 科学博物館ホームページ** <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>



## グローバルカフェがオープン

2013年4月11日(木)、留学生と日本人学生の交流スペースとして、「グローバル・カフェ (gCafe)」が府中キャンパス及び小金井キャンパスにオープンしました。

gCafeでは、ISサークル(学生サークル)などによる学生企画の様々な国際交流イベントの開催を予定しているほか、大学教育センターや国際センターが学生のコミュニケーションスキルや異文化交流体験のための情報やプログラムを提供します。

### gCafeインフォメーション

【開館時間】 8:00~20:00 (月~金曜日。祝日は除く)  
 【場 所】 府 中キャンパス：福利厚生センター2階(オリザ前)  
 小金井キャンパス：13号館(国際センター)4階・5階



## 慶 弔

**慶 事** お祝い申し上げます

ご当選おめでとうございます(参議院選挙2013)

吉川(藤崎) 有美(農学院H12) 選挙区三重

ご当選おめでとうございます(衆議院選挙2012)

西川 公也(農 S40) 小選挙区栃木2区  
 林田 彪(林 S42) 比例区九州ブロック

### 平成25年春の叙勲

小野 宇三郎(織別S33) 瑞宝小綬章

### 平成24年秋の叙勲

遠藤 章(特別栄誉教授) 瑞宝重光章  
 谷本 昌(農S32) 旭日双光章

### 平成24年高齢者叙勲

鈴木 正敏(養実S18) 瑞宝双光章  
 福居 健作(林S18) 瑞宝双光章  
 高橋 鉄一(林S19) 瑞宝双光章

**弔 事** ご冥福をお祈り申し上げます

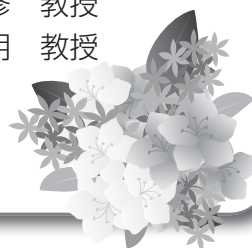
平成25年7月23日逝去 西尾 邑次(名誉会長/現鳥取県支部長・農S17・9)  
 平成25年3月 7日逝去 高橋 健(名誉教授)  
 平成25年1月21日逝去 小林 茂雄(元教員・獣医S31)

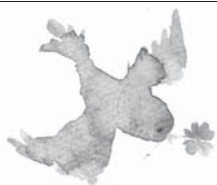
## 定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成26年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問合わせください。

(氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみ)

- 農学研究院 牛木 秀治 教授
- 農学研究院 加茂前秀夫 教授
- 農学研究院 蛭木 理 教授
- 農学研究院 服部 順昭 教授
- 農学研究院 普後 一 教授
- 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター 島田 順 教授
- 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター 松村 昭治 准教授
- 工学研究院 北嶋 克寛 教授
- 工学研究院 小谷 善行 教授
- 工学研究院 佐野 理 教授
- 工学研究院 中森眞理雄 教授
- 工学研究院 仁藤 修 教授
- 工学研究院 松岡 英明 教授





# 事務局だより



## 1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

**終身会費30,000円または年会費1,500円**

- ◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です
- ◇過去に遡って納入の必要はありません

## 2. 住所・勤務先等の変更届が簡単・便利になりました

同窓会ホームページ「**会員情報(住所変更など)**」から、24時間いつでも変更届けができるようになりましたので是非ご利用ください。

従来通り、変更連絡票はがきやメール・電話など、いずれの方法でも受け付けますので住所、勤務先等の変更があった場合は、すみやかに同窓会事務局までご連絡願います。

なお、同窓会会員名簿等に「住所・勤務先・電話番号」について非掲載をご希望される方も、ご連絡ください。

## 3. 同窓会ホームページのご案内

<http://www.tuat-dousoukai.jpn.org/>

2012年6月にリニューアルした同窓会ホームページでは内容を随時更新し、農工通信に先駆けて最新情報を掲載しています。

部会・支部、クラス会だよりも電子媒体でお送りいただければ、随時掲載いたします。

当日参加できなかった方もホームページで覧いただくことが出来ますので、幹事の皆様は下記アドレスまでお送り下さい。

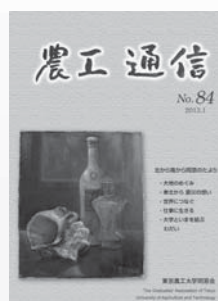
**E-mail:info@tuat-dousoukai.jpn.org**

## 4. 農工通信・後期号「寄稿文」、ホームページ「ギャラリー」への作品募集

寄稿内容は自由(例:随想、近況報告、研究紹介、仕事に関すること等)です。寄稿文の文字数はA4判1頁1200字程度、絵などの作品は写真に撮って、電子媒体または郵送でお送りください(紙媒体でも可)。

なお、寄稿文の掲載は農工通信88号(平成27年1月発行予定)となります。

詳細は同窓会事務局にお尋ね下さい。



農工通信



同窓会ホームページ「ギャラリー」

## 5. Facebook活用のお願い

同窓会ホームページ「**会員交流広場**」では、Facebookを利用した会員のコミュニケーションの場を提供しています。

Facebookの利用には簡単な登録が必要となりますので、詳しくは同窓会ホームページ「**会員交流広場**」をご覧ください。

また、部会・支部でFacebookページを開設された場合は、リンクを貼らせていただきますので、同窓会事務局までご連絡ください。

## 6. お詫びと訂正

本誌84号において下記のとおり誤りがありました。

- P.34「農工大との『縁』」木原 崇さんの卒業年(誤) H7→(正) H8
- P.38「東京農工大学わが母校」の歌詞の一部に誤りがありました。

関係者各位および読者の皆様にお詫び申し上げます。

詳しくは井口一世で  
検索してください。

**3** 適正価格を簡単・即座に  
算出できます。

板金製品の見積・査定ソフトウェア  
「これいくら」

**2** 単価が1/2〜1/3に  
なります。

切削レス加工

**1** 高い金型はいりません。  
金型レス加工



私たちは「包む価値」の創造を通じて  
快適な社会の実現に貢献します。

1914年、美しく繊細な生糸製品を海外へ送り届ける  
防湿・防水「ターポリン紙」の開発からZACROSの  
「包む価値」は歩みだしました。

素材に機能という“いのち”を与えてさまざまな価値を  
創造し、暮らしや社会に貢献することを目指してきた  
私たちZACROSは、まもなく創業100周年を迎えます。

次の100年も、お客様や市場と真摯に向き合い、  
さらなる貢献を続けてまいります。

藤森工業株式会社  
FUJIMORI KOGYO CO.,LTD.

代表取締役社長 藤森明彦(工化S42)

<http://www.zacros.co.jp/index.html>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目23番地7号

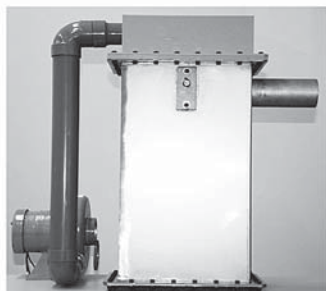
農工大発ベンチャー

# 株式会社アルマイト触媒研究所

〒 184-0012 小金井市中町 2-2 4-1 6 農工大・多摩小金井ベンチャーポート 105号室  
 TEL/FAX : 042-401-1920 E-Mail : actjimu@actechno.co.jp HP : http://actechno.co.jp/

東京農工大学亀山研究室の研究成果としたアルマイト触媒を用いた脱臭装置、水素製造装置、オゾン発生装置、オゾン水製造装置の開発・実証実験を行いました。

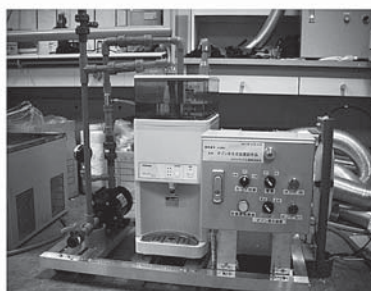
これらに関する製造技術の提供し、**パートナーを探しております。**



### 小型脱臭装置(モジュール)

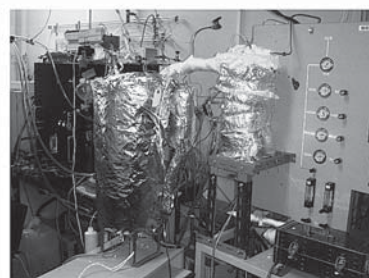
(従来装置との比較)

- ・消費電力 : 50%減
- ・設置スペース : 40%減
- ・起動の時間 : 1/5 短縮
- ・メンテナンス費 : 40%減



### オゾン水製造装置

- ・用途 : 殺菌・消毒 (病院、動物病院、農業、畜産業)
- ・濃度 : 2~4 ppm
- ・発生量 : 4L/min
- ・消費電力 : 約 300 W



### 水素製造装置

- ・用途 : 燃料電池等
- ・原量 : エタノール水溶液 30% (バイオエタノール可)
- ・改質反応温度 : 500~550℃
- ・起動時間 : 1/3 短縮可

詳細は弊社ホームページをご覧ください。又、直接のお問合せをお待ちしております。

地元 小金井市の商社

## 株式会社 高岡機工

〒184-0001 東京都小金井市関野町1-4-6

TEL : 042-383-6100 FAX : 042-384-4993

E-Mail : takaoka@basil.ocn.ne.jp

☆お気軽にお問合せ下さい。

### 《営業内容》

- \* 研究諸機材の製作及び販売
- \* 金属材料・樹脂材料・木材・試験片・ネジ類・配管部材
- \* 装置部材・装置部品 (ベアリング、シャフト、ギヤ類、モーター、機械周辺機器 etc)
- \* 各種工具 (切削工具・測定工具・作業工具・補用工具 etc)
- \* 受託加工・部品加工 (NC・MC加工・旋盤加工・ワイヤー加工・溶接加工)
- \* 工作機械・研究装置・測定器・理化学機器・作業台・実験台
- \* 修理、オーバーホール、アフターフォロー、加工相談、各メーカー情報の提供

# 千年少年 Sennen Shonen

ISO9001 全社認証取得



1000年先の地球と語り合う、少年のような視点と、純粋な心。

地球という大きな星が与えてくれた  
シンプルでピュアな贈物、

それは記憶の中の少年の目と  
心にくっきりと映っている。

一杯の水、大地の実り、雨の恵みや、木の木陰・・・  
地球がくれるシンプルな贈物について、  
私たちは真面目に考えたいと思う。

壮大なプロジェクトの中に、高度な技術の結晶の中に。  
千年先の地球と共に。



**SC** 株式会社三祐コンサルタンツ  
Sanyu Consultants Inc.

本 社 〒461-0002 名古屋市東区代官町35番16号  
TEL(052)933-7801 FAX(052)933-7851  
東京支社 札幌支店 仙台支店 岡山支店 九州支店

チューブポンプ専門メーカー



社名は「World Electronics COporation」の  
頭文字に由来しています。



当社のチューブポンプ製品は  
医療、分析、洗浄、印刷、産業機械などの  
幅広い分野で活躍しております。

**株式会社 ウエルコ**

〒183-0034 東京都府中市住吉町3-3-1  
TEL 042-333-7311 FAX 042-333-7313

<http://www.welco-web.co.jp>

カザミは、  
お客様のニーズに合わせた  
たれとソースを  
作ります。



営業本部／工場 〒326-0044 栃木県足利市助戸1の26  
TEL0284(41)2527 FAX0284(44)2618  
本 社／ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号柿沢ビル5階  
TEL03(5695)1671

たれとソースの総合食品 株式会社 カザミ

# 編集 後記

Editor's note

本85号は、平成25年度前期号になります。藤森前会長の方針で会員同士の「絆」を深めるために、昨年から農工通信を年2回発行しております。

前期号は、同窓会の総会の報告、部会・支部・クラス会日より、卒業・修了生名簿、事務連絡が主な内容です。後期号は、会員個人の活動の様子等、寄稿文を中心にお届けしますが、今年は、昨年の33件を大幅に上回る56件（農系・工系ほぼ半分の比率）の寄稿が既に集まっており、昨年より23件増えることとなります。5月の総会で編集予算の増額をお認め頂きましたので、投稿原稿は、すべて掲載する予定で編集作業を進めております。これから投稿される方には、1年お待ちいただくことになることをご了承ください。本前期号の編集は、広報部常務理事と事務局職員が担当していますが、後期号の編集は、同窓会に新たに設置された集団部会「農工大支援ネットワーク」のOB・OG数名による学外制作グループです。読んで楽しい内容に仕上がっていますので、後期号を楽しみにお待ちください。

前期と後期の2種類の農工通信が、同窓会会員皆さまの国内外ネットワークへと発展し、より強い同窓生の絆が形成されることを願っています。

広報部長 亀山秀雄（化工S48）

## お知らせ

同窓会会則改正により、平成25年度の総会から正副会長・支部長を始め、部会・支部から推薦のあった理事や代議員のほかに、60人以内の一般の会員も構成員に加えました。

毎年1月の同窓会ホームページにて募集しますので、奮ってご応募ください。

## 農工通信 第85号

発行日 平成25年（2013年）9月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局  
TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail [info@tuat-dousoukai.jp](mailto:info@tuat-dousoukai.jp) URL <http://www.tuat-dousoukai.org/>

振替口座 00120-9-93147番（加入者負担）

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6



お中元、お歳暮、贈り物に最適  
部会、支部会、同窓会でも是非ご賞味下さい。

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエ  
ンス教育研究センター（FS センター）で栽培した原  
料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの  
本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。

ご好評いただいております「賞典禄（しょうてんろく）」  
米・芋・麦の本格焼酎に加えて、米・芋・麦の熟成し  
た原酒もそろい踏みとなり、ますます品揃えが豊富に  
なりました。

この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されて  
いる焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是  
非ご賞味下さい。



FAXでのご注文も可能になりました!!



左から、原酒（米）、原酒（芋）、原酒（麦）

左から、米焼酎、芋焼酎、麦焼酎

【ネット販売対応商品】

商品種類	度数	容量	販売価格	商品種類	度数	容量	販売価格
原酒 米焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円	米焼酎	25度	720ml	1,700円
原酒 芋焼酎(つぼ入り)	38度	720ml	2,700円	芋焼酎	25度	720ml	1,700円
原酒 麦焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円	麦焼酎	25度	720ml	1,700円
				米・芋・麦 3種セット (専用の箱に入れて配送します)	25度	720ml×3	5,000円

ただいまインターネット販売により、多くの卒業生の皆様方にご愛顧を賜っておりますが、**配送先 1ヶ所につき 5,000円以上のご注文の場合には送料を無料**とさせていただきますので、是非ご利用ください。  
代金の支払方法は、代金引換かクレジットカードになります。詳しくは下記URLをご覧ください。

ネットショップサイト：**FSセンター農工大市場ネットショップ**

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

**農工大市場** で **検索** すると便利です。

同窓会のホームページ（事務局便り・お知らせ）からも本サイトに入れます。

※FAXでのご注文：「042-367-5801」へお願いします。

※電話でのご注文はできませんので、予めご了承をお願いします。

問い合わせ先 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務局 TEL 042-367-5812